

# 石油製品の価格動向について

平成18年10月18日  
生活環境部  
総務企画グループ

## 1 石油製品の価格動向調査の結果

県内の石油製品4品目について、10月11～16日に価格動向調査を実施しましたが、その結果については以下のとおりです（非定店調査）。

（単位：円、消費税込み）

品目名	規格・容量	店舗形態	前月調査の 平均価格	10月調査の 平均価格	対前月比 (%)
ガソリン	レギュラー1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	144	140	▲2.8
		セルフ	141	138	▲2.1
軽油	個人消費向け1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	122	118	▲3.3
		セルフ	118	115	▲2.5
灯油	店頭価格、18ℓ	一般店舗	1,480	1,427	▲3.6
		セルフ	1,416	1,368	▲3.4
	配達価格、18ℓ	一般店舗	1,587	1,539	▲3.0
LPガス	一般家庭用、10㎡	一般店舗	6,637	6,588	▲0.7

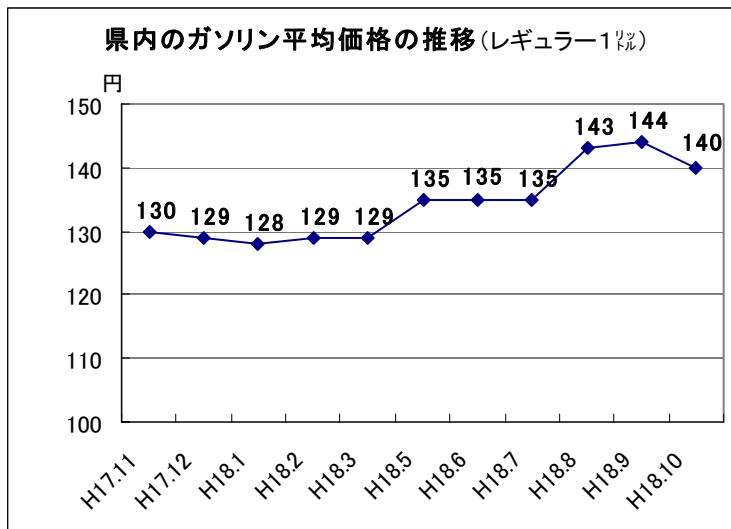
◎ 前月（9月）は卸売価格の小幅な引き上げなどを受けて、ガソリン等の価格は一段上昇したが、10月は、原油価格の下落による調達コストの低下により、卸売価格の値下げは元売各社で一様ではなかったものの、ガソリン等すべての品目において小売価格が値下がりした。

国際的な原油価格の低落傾向は10月に入っても続いており、また、元売会社が11月の卸売価格の値下げを予定していることなどから、小売価格も更に値下がりすることが予想されるが、原油価格の下落幅に比べて小売価格の値下がり幅が小幅であることや、今後冬場を迎え灯油の本格的な需要時期となることなどから、引き続き石油製品の価格の推移を注視していく必要がある。

## 2 県内の石油製品価格の推移

### (1) ガソリン価格

※ 一般店舗価格

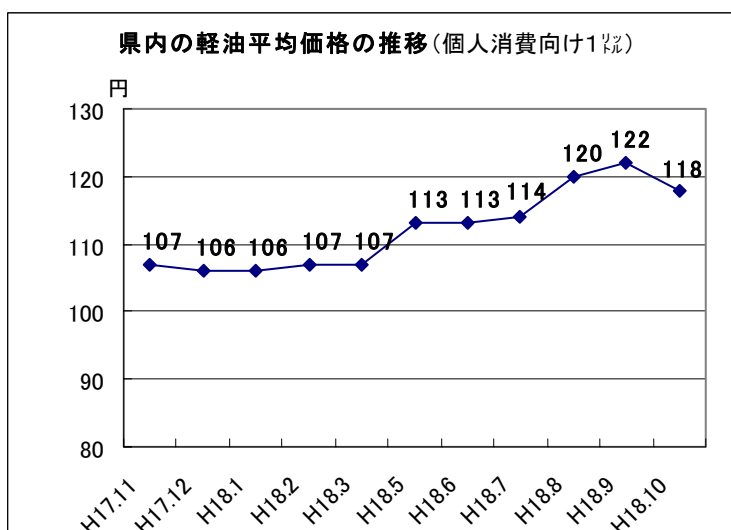


◎ 9月調査結果と比較すると、10月は、原油価格の下落による調達コストの低下により、卸売価格の値下げは元売各社で一様ではなかったものの、4円値下がりました。

国際的な原油価格の低落傾向は10月に入っても続いており、また、元売会社が11月の卸売価格の値下げを予定していることなどから、小売価格も更に値下がりが予想されるが、引き続き石油製品の価格の推移を注視していく必要がある。

### (2) 軽油価格

※ 一般店舗価格

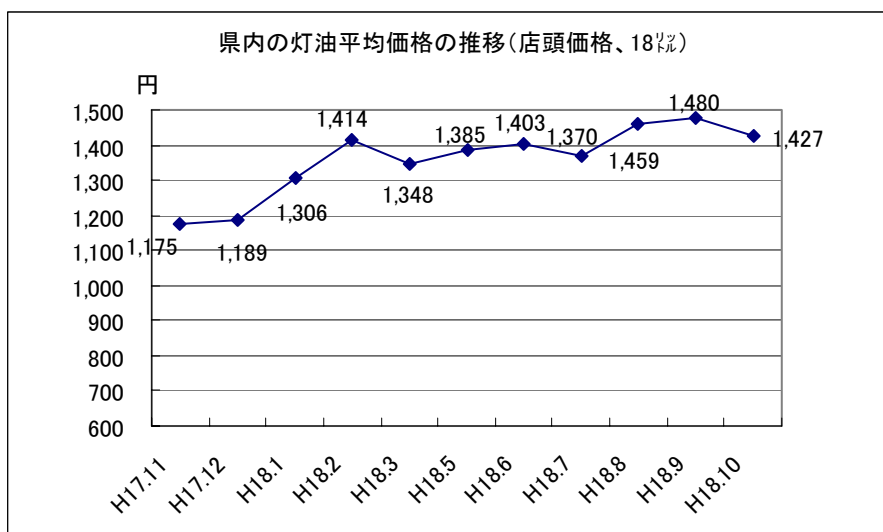


◎ 9月調査結果と比較すると、10月は、原油価格の下落による調達コストの低下により、卸売価格の値下げは元売各社で一様ではなかったものの、4円値下がりました。

国際的な原油価格の低落傾向は10月に入っても続いており、また、元売会社が11月の卸売価格の値下げを予定していることなどから、小売価格も更に値下がりが予想されるが、引き続き石油製品の価格の推移を注視していく必要がある。

### (3) 灯油価格

※ 一般店舗価格

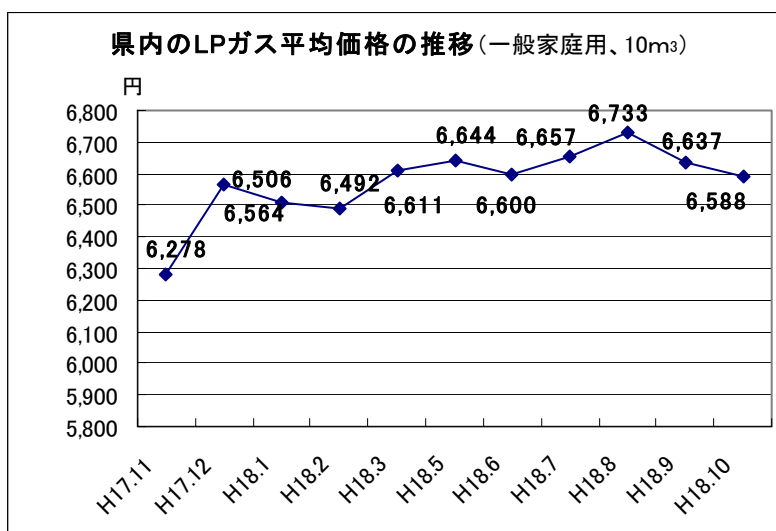


◎ 9月調査結果と比較すると、10月は、原油価格の下落による調達コストの低下により、卸売価格の値下げは元売各社で一様ではなかったものの、53円(1ℓ当たり約3円)値下がりました。

国際的な原油価格の低落傾向は10月に入っても続いており、また、元売会社が11月の卸売価格の値下げを予定していることなどから、小売価格も更に値下がりが予想されるが、今後冬場を迎え灯油の本格的な需要時期となることなどから、引き続き石油製品の価格の推移を注視していく必要がある。

### (4) LPガス価格

※ 一般店舗価格



◎ 10月は6,588円と、9月調査結果と比較すると値下がりましたが、昨年12月以降、高水準での推移が続いている。国際的な原油価格の低落傾向は10月に入っても続いているが、日本にとって最大のLPガス供給国であるサウジアラビアの国営石油会社の船積み価格が依然として高水準で推移していることなどから、引き続き価格の推移を注視していく必要がある。